

名古屋市博物館

1 階展示室 特別展・企画展

3/8
|
5/8

特別展

DC展
スーパーヒーローの誕生

世界的に人気を博すバットマンやスーパーマン、そして近年大人気となったジョーカーなどを生み出したアメコミ出版社・DC。貴重な出版当時のコミックや設定資料、映画の衣装や小道具などから、時代とともに形を変え、オリジナルのキャラクターと物語を作り続けるDCの80年以上の歴史とその魅力に迫ります。

BatmanVSuperman Dawn of Justice 2016 Superman Costume worn by Henry Cavill ™ & © DC Comics. (s22)

Sensation Comics #16 Cover 1943 Artist: Harry-G-Peter DETECTIVE COMICS and all related characters and elements ©&TMDC (s22)

Batman&the Joker 1980 Unpublished Painting Artist: Marshall Rogers BATMAN and all related characters and elements ©&TMDC (s22)

7/2
|
8/21

特別展

もしも猫展

猫が人だったら、
人が猫だったら。

「もしも、うちの猫が人間のよう
に話したら？」そんな想像をした
ことはありませんか。人間以外
の何かを人間になぞらえること
を擬人化とよびます。猫を擬人化
して描いた浮世絵をとおして、
江戸時代の擬人化表現の面白さと、
浮世絵師歌川国芳の魅力に迫ります。

歌川国芳 流行猫の曲舞 個人蔵

新板猫相撲づくし(部分)より にゃこが峰 個人蔵

9/10
|
11/6

特別展

日中国交正常化50周年記念
兵馬俑と古代中国—秦漢文明の遺産—

死後の皇帝を守り続けた兵馬俑は、戦国時代の極小の騎馬俑から、始皇帝陵では等身大となり、漢代皇帝陵では再び小さく変化しました。

本展では、兵馬俑のダイナミックな展示と秦漢両帝国の中心地域である関中(現在の陝西省)出土の一級文物を含めた約200点から、古代中国の歴史や西方文化との関係を紹介します。

騎馬俑 戦国時代 咸陽市文物考古研究所蔵

戦服将軍俑 秦時代 秦始皇帝陵博物院蔵

1/21
|
3/5

企画展

戦前を生きる～收藏品が伝えるココロ～

先の大戦が終わることで今の私たちにつながる戦後が始まりました。だからこそ暗いイメージを持たれる戦前ですが、憲法やモラルといった国の根本こそ違えども、人々は“当時の当たり前”の中で今の私たち同様、毎日を精一杯生きていました。約半世紀にわたる名古屋市博物館の戦前資料の収集品を見つめ、物の向こう側に確かに存在した人々のココロに近づきたいと思います。

戦死した父の遺品となった軍事郵便はがき

2 階展示室 常設展「尾張の歴史」16のテーマに沿って尾張の歴史を紹介するとともに、展示室の一部では、以下のスケジュールで特集展示をおこなっています。

フリールーム	3/23 館蔵映画資料展 映画館のピラやパンフレット、プロマイドなど映画に関係した収蔵資料を展示します。 映画館のピラ(昭和30年代)	4/24 名古屋職人図鑑 大工道具	4/27	6/26 桶屋、大工、三味線屋など、近年受贈したさまざまな職種の道具類を紹介。名古屋で営んだ職人の世界を見ていきます。	6/29	古墳時代の形いろいろ 馬形埴輪	8/21	8/24 伊勢湾台風63年 昭和34年(1959)9月26日に襲来した伊勢湾台風。63年の時を経て、人びとの体験を館蔵資料から伝えます。 救済物資として支給されたカンテラ	10/23	10/26 「尾張名古屋埋枿之図」と幅下水道 江戸時代、名古屋城下西部に敷設され、近代まで使われていた幅下水道。その管理の実態を新出資料から紹介します。 尾張名古屋埋枿之図(部分)	12/18
	テーマ10 近世尾張の文化	3/23 よろいとかぶと 太平の世となった江戸時代でも、祖先の武勇を伝え、いざという時の勇姿を演出するため美麗な甲冑が必要でした。様々な形のよろいとかぶとを紹介します。 案系威鳳上胸具足	4/24 黒楽茶碗 京都樂家歴代の作品と、その陶法を受け継いだ窯やそこで焼かれた茶人の手造りによる茶碗を楽茶碗と呼びます。今回は美しい黒色を呈した黒楽茶碗を特集します。作者の個性あふれる茶碗を見比べながらお楽しみください。 重要文化財 本阿弥光悦 黒楽茶碗 銘 時雨	4/27	6/26 春江院の襖絵 緑区大高町にある春江院の所蔵品から、江戸時代の襖絵を紹介。前期は狩野永秀「芦雁図襖絵」四面、後期は喜田華堂「波千鳥図襖絵」四面を展示します。 狩野永秀 芦雁図襖絵 春江院蔵	6/29	7/24 7/27 博物館と地域連携 博物館では、所蔵資料を活用して、商店街などの地域と様々な連携事業に取り組んでいます。60年に1度のお祭りの復活や、「ええじゃないか」150年を記念したイベントなど、展示以外の事業を紹介します。 おたふくの面「御旅歌真景図略」より	8/21	8/24 清野一幸の屏風 江戸時代前期、尾張藩の御用絵師をつとめた清野一幸を紹介。前期は「唐人物図押絵貼屏風」、後期は「花鳥図押絵貼屏風」を展示します。 清野一幸 唐人物図押絵貼屏風(左隻)	10/23	10/26 11/20 11/23 12/18
テーマ16 まつり	3/23 橋弁慶図屏風 近代名古屋を代表する趣味人で、大のお祭り好きとしても知られる伊勢門水(1859～1932)。彼が能「橋弁慶」を題材に描いた作品を紹介します。 伊勢門水 橋弁慶図屏風(部分)	4/24 鹿子神車山車模型 東区新出来の山車鹿子神車は、例年6月第1土日の出来町天王祭に曳き出されます。その祭りに携わっていた方が製作した山車模型を紹介します。 鹿子神車山車模型	4/27	6/26 虫送り 「虫送り」とは「ウンカ送り」ともいい、田植え後に生長した稲につく害虫の退散を願う初夏におこなわれる行事です。虫送りに使われた道具の中から「サネモリ(斎藤実盛)」と呼ばれるワラで作られた人形などを紹介します。 虫送り人形	6/29	8/21 戸田白山社山車のからくり人形 中川区戸田では10月第1土日に、戸田まつりが行われ、5輛の山車が飾られます。まつりに登場する山車のひとつ、白山社山車のからくり人形を紹介します。 白山社山車のからくり人形 郷土芸能保存会蔵	8/24	10/23 10/26 花祭の祭具 奥三河の「花祭」では神事や舞に用いるためや祭りの会場(舞庭)を飾るためにたくさん祭具が準備されます。「切り草」と呼ばれる色紙を細かく切った飾りをはじめ、花祭に使用された祭具の数々を紹介します。 翁の帯(市川の花祭)	12/18		

12月19日～1月3日は館内点検および年末年始のため休館します。

イベント・セミナー

要事前申込の事業は名古屋市電子申請サービス(https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya)にてご応募ください。詳しくは博物館ウェブサイトをご覧ください。お問い合わせください。
参加にあたり、障害等により特別な配慮が必要な方は、事前申込の事業は申し込み時に、当日参加の事業は2週間前までに博物館へご相談ください。

歴史体験セミナー (参加費無料)			
むかしのおもちゃで遊ぼう	7/12(火)～8/28(日)	開館日の9:30～16:30	会場:2階常設展ロビー
正月のおもちゃ	12/6(火)～1/9(月・祝)	開館日の9:30～16:30	会場:2階常設展ロビー
歴史体験セミナー (要事前申込 参加費1人400円) ※受付は先着順・製作しない同伴者は参加費不要(定員に達し次第受付終了・キャンセル待ち受付なし)			
自分だけのまが玉づくり	8/20(土)・21(日)	各日2回 (1)10:00～11:30 (2)14:00～15:30	定員各回30人(小学校3年生以下は要保護者同伴) ※申込期間 7/26～8/19
ミニ屏風をつくろう	11/5(土)	(1)10:00～11:30 (2)14:00～15:30	定員各回30人(小学校以下は要保護者同伴) ※申込期間 10/12～11/4

はくぶつかん講座 (要事前申込 聴講無料) ※受付は先着順(定員に達し次第受付終了。キャンセル待ちの受付はありません) 当館学芸員が講師をつとめる講座です。10:00開講(9:30開場)。各回70人。各講座の申込期間についてはウェブサイトをご確認ください。

第1回	4/23(土)	博物館資料の収集と保存	第6回	9/17(土)	博物館と地域連携
第2回	5/21(土)	出征兵士からの手紙	第7回	10/29(土)	奥三河の民俗文化
第3回	6/4(土)	松平君山の巡河日課と河渠図	第8回	11/19(土)	新出資料から見える幅下水道のすがた
第4回	7/9(土)	古墳時代の造形	第9回	2/18(土)	名所絵のつくりかた
第5回	7/23(土)	尾張七宝の美	第10回	3/18(土)	名古屋の石造物探訪

各種イベント 当館で開催する様々なイベント。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

はくぶつかん クイズラリー 7/27(水)～8/28(日) 常設展でクイズラリーを開催します。 ※常設展観覧料が必要	はくぶつかん 古書市 9/10(土)～9/19(月・祝) 郷土書・歴史書中心のフェアです。 ※入場無料	考古学セミナー 共催:愛知県埋蔵文化財センター 10/22(土)・23(日) 愛知県及び近隣の考古学の活動発表会です。 ※入場無料
--	---	---

当館は現在、新型コロナウイルス感染拡大を防止するための対策を講じています。来館時には、当館ウェブサイト「博物館からのご連絡」のページご一読の上、マスク着用などのご協力を賜りますようお願いいたします。

また、本年度の事業計画は新型コロナウイルス感染症等の影響により、今後変更される場合があります。最新情報は当館ウェブサイトかFacebook、Twitterをご確認ください。

*画像のうち特に表記のないものは名古屋市博物館・名古屋市蓬左文庫・名古屋市秀吉清正記念館の収蔵品です。

名古屋市蓬左文庫

4/10

春季特別展
広重の旅風景 雨・雪そして人

風景画の名手歌川広重の代表作である保永堂版「東海道五拾三次之内」全55図に、各種東海道絵や各地の名所絵を加えて紹介します。卓越した脚色の技が活かされた広重の風景画をお楽しみください。

歌川広重
東海道五拾三次之内 箱根 湖水図 個人蔵

5/22

企画展
大名の冠・婚・葬・祭

誕生や成長、成人、結婚、長寿を祝う行事や葬儀など、大名家の人々が人生の節目におこなった冠婚葬祭について、尾張徳川家の伝来品を中心に紹介します。

徳川直七郎(斉温)宮参り行列図(部分) 徳川美術館蔵

5/28

企画展
祭りの世界ー衣装と風流ー

祭りは宗教的行事でもあり、人々が心躍らせる娯楽でもありました。江戸時代の祭礼図を中心に、見た目にも美しく楽しげな衣装や出し物に着目し、その豊潤な世界を紹介します。

重要文化財
若佐又吉南幸 豊国祭礼図屏風(部分) 徳川美術館蔵

7/18

7/24

9/11

9/17

11/6

11/12

12/15

秋季特別展
名物ー由緒正しき宝物ー

茶の湯道具や刀剣などのうち、名の知られた由緒ある優品は「名物」と呼ばれ賞ばれました。尾張徳川家の収蔵品を中心として、名物の展開をたどりながら、名だたる名物の数々をご覧ください。

重要文化財
唐物茶室 銘 松花 大名物 徳川美術館蔵

企画展
鷹狩

飼い馴らした鷹を使って獲物を捕らえる鷹狩は、日本では古代から行われていました。鷹狩道具をはじめ、狩りに関わる人々や場にも焦点を当て、鷹狩の世界を紐解きます。

狩野養川院惟信筆 雪中鷹捉辯鶴図(部分) 徳川美術館蔵

1/4

企画展
徳川文房博

尾張徳川家に伝来した文房具を一堂に会し、文房(書斎)で用いられた様々な道具と、大名文化における文房具の役割について紹介します。

龍文箱絵軸筆
銘 大明万暦年製
徳川義直(尾張家初代)所用
徳川美術館蔵

1/29

企画展
読み解き 近世の書状

信長・秀吉・家康をはじめとする近世の人びとの書状を展示し、書状からうかがえるエピソードや書き手の人柄などを紹介します。

徳川家康白筆書状 おかめ・あちや宛 徳川美術館蔵

特別整理・年末年始休館
12月16日～1月3日

名古屋市秀吉清正記念館

3/5

5/29

秀吉清正記念館30周年パネル展
中村公園いまむかし

記念館が位置する中村公園は、明治36年(1903)、豊臣秀吉の生誕地を記念する公園として、開園しました。現代まで約120年間の景観の変遷を紹介します。

明治43年(1910)ころの中村公園入口
「中村公園写真帖」より 横地清蔵蔵

6/11

7/3

7/16

9/19

パネル展
名古屋の城

名古屋市内の城郭遺跡の中から、遺構が残るところ、歴史上の生誕地を記念する公園として、開園しました。現代まで約120年間の景観の変遷を紹介します。

復元された名古屋城本丸御殿上洛殿

夏休み特集展示
豊臣秀吉 人気の秘密をさぐる

夏休み期間の小中学生向け企画です。秀吉はどのようにして強い武将として力を発揮したのか、なぜヒーローとして人気を集めるのかを紹介します。自由研究にご活用ください。

名古屋指定文化財 ピロード陣羽織

10/8

11/23

12/10

2/19

3/4

5/28

特別展
加藤清正ー神仏への祈りー

加藤清正は日蓮宗の熱心な信者であり、多くの寺院の建立や修理を行いました。清正と日蓮宗信仰・寺院との関わりや、江戸時代に隆盛した清正公信仰の諸相を紹介します。

色々威片肌脱二枚胸具足(部分)

特集展示
秀吉と清正の面影ー描かれた姿をさぐるー

豊臣秀吉と加藤清正の画像、木像は日本各地に数多く残されています。それらに表現された秀吉と清正の顔のバリエーションや特徴を紹介します。

名古屋指定文化財
狩野随川南信筆 豊臣秀吉画像(部分)

特集展示
地図を楽しむ

地図は作成された時の地理感覚、流行、政治的意図などをさぐるための重要な資料となっています。さまざまな地図がつくられた時代背景や、楽しみ方を紹介します。

日本地域図

■ 博物館利用案内 ■

名古屋市博物館は昭和52年(1977)に開館した歴史系の総合博物館です。わたしたちの祖先が残した考古・美術・歴史・民俗に関する資料を集め、保管・保存し、公開しています。

〒467-0806
名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1
電話 052-853-2655 FAX 052-853-3636

- 開館時間

9時30分～17時
(入場は16時30分まで)
- 休館日

毎週月曜日
(祝日の場合は直後の平日)
毎月第4火曜日(祝日を除く)
館内点検休館および年末年始休館(12月19日～1月3日)
- 観覧料
(常設展)

一般300(250)円、高大生200(150)円、中学生以下無料。
※()内は30名以上の団体料金。高大生・中学生は学生証の提示が必要。市内在住の65歳以上の方100円(要敬老手帳等)。
※特別展・企画展はそのつど定めます。
- 交 通

【名古屋駅より】
地下鉄桜通線で17分「桜山」下車
4番出口から南へ150m
エレベーターをご利用の方は
3番出口から南へ400m
【金山バスターミナルより】
市バス金山14系統(桜山経由)
「博物館」下車
- 駐車場

普通車:1回300円
大型バス:1回1,200円



最新情報はウェブサイトかSNSでご確認ください。



ウェブサイト



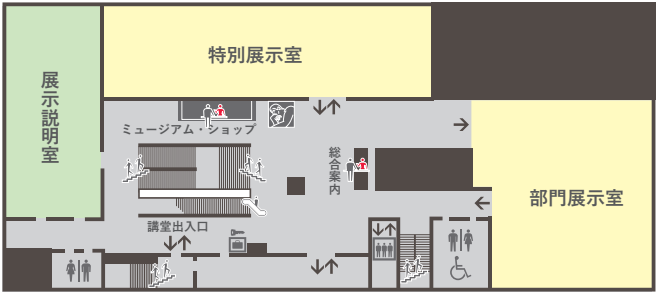
Facebook



Twitter

1階 特別展示室・部門展示室

特別・部門展示室では、尾張地方の歴史・文化の特色を明らかにする企画展や内外のすぐれた文化遺産を紹介する特別展を開催しています。

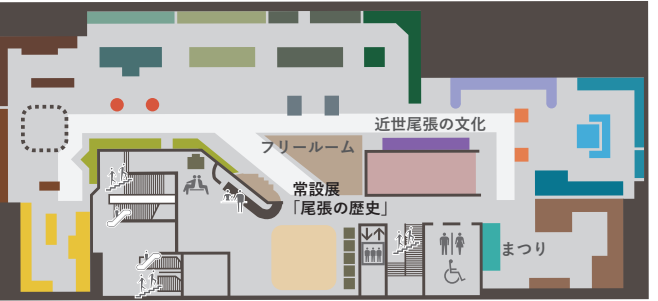


オーギュスト・ロダン作「考える人」
「考える人」の像の前で記念撮影ができます。
ミュージアム・ショップ
オリジナル・グッズ、歴史書などを販売。



2階 常設展「尾張の歴史」

2階展示室では、常設展「尾張の歴史」を開催。原始から続くこの地方の歴史を16のテーマに分けて紹介しています。



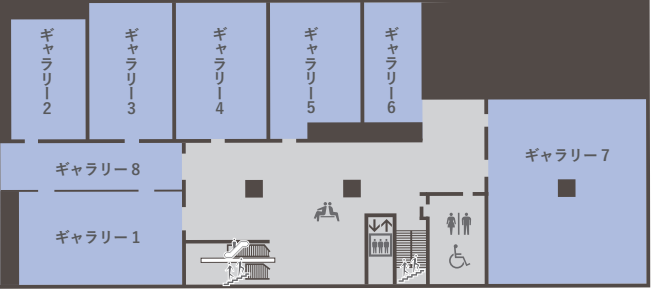
- 1 狩猟・採集の時代
- 2 稲作のはじまった頃
- 3 古墳とその時代
- 4 古代の尾張
- 5 窯業
- 6 中世の尾張
- 7 尾張の統一と信長・秀吉
- 8 尾張藩の成立
- 9 城下町の人々
- 10 近世尾張の文化
- 11 幕末維新の尾張
- 12 名古屋市の成立と近代産業
- 13 近代のくらしと文化
- 14 戦争と市民
- 15 なりわい
- 16 まつり

※常設展示内の「フリールーム」では小規模な企画展示を開催しています。
また、テーマ10「近世尾張の文化」、テーマ16「まつり」は定期的に展示替えをおこなっています(裏面参照)。
その他のテーマも随時展示替えをおこなっています。

※ボランティアによる解説をおこなっています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

3階 ギャラリー

市民の作品発表の場として多くの展覧会が開催されます。



■ 博物館サポーター募集 ■

- 入場割引

企画展・常設展の入場無料。特別展は当日料金の半額割引。
- 特 典

広報モニター会招待・館外見学会・館事業情報の案内送付など。
- 年会費

正サポーター 3,000円 家族サポーター 2,000円
※本年度の特典の内容は、新型コロナウイルス感染症等の影響で今後変更される場合があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

■ 分館利用案内 ■

名古屋市蓬左文庫

- 〒461-0023
名古屋市中村区徳川町1001
電話 052-935-2173 FAX 052-935-2174
- 開館時間

10時～17時(入室は16時30分まで)
- 休館日

毎週月曜日
(祝日の場合は直後の平日)
特別整理・年末年始休館(12月16日～1月3日)
- 観覧料

一般 1,400円 高大生700円 小中生500円(徳川美術館と共通)
- 交 通

【名古屋駅より】
市バス基幹バス2号系統・名鉄バス(栄経由)
「徳川園新出来」下車、徒歩3分
【なごや観光ルートバス メーグル】
「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車すぐ
【大曽根より】
JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分



名古屋市秀吉清正記念館

- 〒453-0053
名古屋市中村区中村町茶ノ木25(中村公園文化プラザ2階)
電話 052-411-0035 FAX 052-411-9987
- 開館時間

9時30分～17時
- 休館日

毎週月曜日
(祝日の場合は直後の平日)
第4火曜日(祝日を除く)
館内点検休館(11月24日～12月9日)
年末年始休館(12月29日～1月3日)
- 観覧料

無料
- 交 通

【名古屋駅より】
地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口から北へ徒歩10分
市バス名駅25系統・中村巡回「豊国神社」下車、徒歩2分



2022.4-2023.3

名古屋市博物館

名古屋市蓬左文庫

名古屋市秀吉清正記念館



重要文化財
本阿弥光悦 黒楽茶碗 銘 時雨